

全国小学生ABCバドミントン大会優勝

山口 茜さん(10)
＝平泉寺小学校4年＝



8月16日から18日まで、熊本県八代市で開催された全国小学生ABCバドミントン大会の3・4年生の部(Bグループ)に出場した山口さんは、昨年の雪辱を果たし、見事優勝を飾りました。

昨年の同大会で3年生ながらも準優勝を勝ち取った山口さんは、「今年は優勝したい。」という気持ちで試合に臨み、1回戦・2回戦とストレート勝ち。「このままいける。」と思ったとい

う残りの試合も全てストレートで勝って、念願の優勝を果たしました。昨年の決勝では悔しくて試合中に涙した山口さんでしたが、今回は涙を流す場面はなく、「スマッシュが得意。」だというその実力を存分に発揮した結果に、たいへん満足そうな笑顔でした。

8月23日には、市長を表敬訪問して優勝の報告を行いました。山岸市長は「まさに完勝で、いままでの努力の結果だと思う。今後は、さらに期待がかかるかも知れないが、それを乗り越えて頑張ってもらいたい。」と優勝を讃えました。

勝山のバドミントンレベルは全国でもトップクラスで、練習環境にはたいへん恵まれており、現在、山口さんは勝山ジュニアで経験を積んでいます。今回の優勝で、来年の全国出場がすでに決まっており、さらなる飛躍が期待されます。

がんばれ元気

出会いふれあい

念願の「ねりんピック茨城2007」に出場

土曜クラブ

仲間 GROUP

高齢者のソフトバレーボール愛好会「土曜クラブ」が誕生して10数年になります。同クラブでは、人生の余暇を楽しむ仲間として「互いのふれあいと融和を大切に」がモットー。会員20数名がお互いの体力増強や健康維持を目的として毎週2回程度練習日を設け、勤労者体育館や中学校体育館で楽しく汗を流しています。

今年5月に「ねりんピック茨城2007」福井県予選会が開催され、「土曜クラブ」は並み居る強敵を制して見事優勝を勝ち取り、11月10日から開催される全国大会出場の切符を手に入れました。「ねりんピック」の愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」は、60歳以上の高齢者を中心とした健康と福祉の総合的な祭典で、今年は節目となる第20回大会が茨城県で開催されます。

同クラブでは、現在全国大会に向けての練習に一段と熱が入ります。同クラブの監督を務める笹木英一郎さん(70)は、「勝つのも



目的ながら、まずは楽しみ、地域を越えた交流を深めることが第一。勝つためには技術的なことよりも、試合中の信頼関係を充実させることが大切です。よい思い出と喜びを持ち帰りたい。」と大会に向けての抱負を語られました。

仲間 GROUP

全国中学校バドミントン大会男子団体3位

勝山北部中学校バドミントン部

8月20日から23日まで、福島県須賀川市で開催された全国中学校バドミントン大会の男子団体で、勝山北部中学校が3位入賞に輝きました。敗れた準決勝では、優勝したチームに最終セットまでもつれる接戦となるなど、自分たちの力を出し切って悔いのない戦いを演じました。

8月28日には市役所を訪れ、副市長を表敬訪問し結果を報告しました。松山副市長が「おめでとうございます。これからも素晴らしい成績を目指して、今まで以上に努力してほしい。」と激励すると、キャプテンの木下貴弘くんは「今回の大会の結果は、応援していただいた皆さんのおかげです。これからも応援をよろしくお願いします。」と応えていました。

また、同大会のダブルスで木下くんとペアを組んでベスト8入りした島田賢くんは、「もっと強い心を持って試合に臨みたい。」と今後の抱負を語り、2年生メンバーは「来年は福井で全国大会が開催されるので、そこで優勝を飾りたい。」と力強く語っていました。



北部中学校では、4年前に団体でベスト8入りして以来の快挙となり、3年生にとって最後の試合で勝ち取った栄冠に、喜びを分かち合っていました。

仲間 GROUP

ソフトバレーボール全国大会に出場

ビッグフォー

ソフトバレーボールチーム「ビッグフォー」は、5月13日に行われた県予選会のレディース部門で見事優勝し、9月15日から大野市で開催される「全国ソフトバレー レディース&メンズ交流大会」への切符を手に入れました。ビッグフォーは平泉寺町婦人会のチームを前身としています。現在は地区にこだわらず25名のメンバーが毎週火曜日と金曜日に平泉寺小学校で練習をしています。試合はバドミントンコートを使った4人制で、全国大会では4チーム総当たりの予選を行い、各順位ごとで再度4チーム総当たりの本戦を行う。順位を決定します。ソフトバレーは生涯スポーツとして色が強いこともあって、厳格に順位を決めることはあまりなく、この大会では1位が何チームも出てくることになりました。

平成12年から監督を務める上山正幸さん(57)は、「地元で全国大会があるので、1年前から代表を目指して準備をしてきました。全国出場はみんなの頑張りの結果だと思います。大会では、初日の総当たりで1位に



なつて翌日の1位ゾーンで戦いたい。」と話してくれました。メンバーの松浦ひろみ(40)さんは、「福井県の代表として出場するので、頂点を目指したい。」と同じく上山明子さん(42)は、「普段の力を出して、精一杯楽しみたい。」との意気込みを語ってくれました。ソフトバレーの最大の楽しみは大会終了後の交流会で、ここで全国のチームと情報交換をするなどして親交を深め、再会を楽しむのだそうです。